

1. 活動概要

メジロ・シジュウカラ・モズ・コゲラ等の小さな野鳥は木々の間を群れで移動しています。先頭の野鳥が移動すると、他の野鳥がその後を追って行きます。元来、バードコールは狩猟時に野鳥に似た鳴き声を出し、仲間がいると思わせて呼び寄せる道具でしたが、今では野鳥とのコミュニケーションを取る方法の一つとして使われています。

ねらい：自然の素材を使ってバードコールを作るを通して、木が持つ温かみを感じたり、木の性質を知ったりする。

バードコールを使って野鳥に呼びかけるを通して、野鳥への興味関心を高めるきっかけにする。

2. 活動場所 体育館、サービスセンター、体験の家

3. 所要時間 45分程度

4. 準 備 《自然の家》 乾燥木・アイボルト(M10)・サンドペーパー・ヒモ・ペン 工作板・のこぎり・プライヤー・電動ドリル(孔径9.0mm)

5. 費 用 100円(乾燥木、アイボルト、紙やすり、ひも)

6. 活動内容

- ① 乾燥木の切断した面を紙やすりで磨きます。表面がツルツルになるまで磨きます。【図1】
- ② 乾燥木をプライヤーで固定し、電動ドリルで中心に深さ3cm程度の穴を開けます。【図2】
※『電動ドリル』を使用する際は、危険防止のため引率者が脇に付き、手元に注意して作業してください。
- ③ 開いた穴にアイボルトをねじ込み、ねじ跡を付けます。【図3】
アイボルトをねじ込んだり、ゆるめたりと小刻みに動かすと「ピョピョ」「キュッキュッ」といった音がします。
- ④ 乾燥木の表面に絵付けをし、アイボルトにヒモを通して完成です。

【図1】



【図2】



【図3】



アイボルト



7. 実施上の留意点

- ・刃物や工具でふざけないようにします。
- ・作業後は用具の点検と返納を確認し、清掃します。
- ・摩擦で音が出るので水などの湿気に注意してください。
- ・ねじ跡は引っかいたような小さな跡なので、無理やり回すと壊れる場合があります。